中小機構北海道本部『スマート農商工連携促進事業』

岩見沢の先端農業を知る市民セミナー

～スマート農業で変わる”先進地いわみざわ”の今とこれから～

北海道農業は、高齢化、就業者確保等様々な課題を抱える一方、スマート農業による課題解決や農業の高付加価値化への取組が進められつつあります。

このような中で、岩見沢を中心とする地域では、農業者によるICT技術の利活用研究会の活動、地元自治体による基盤整備の推進、また、民間企業もこれらと連携し新技術の開発を積極化しています。さらに、地元農業高校もICT技術を活用できる人材育成に乗り出すなど、まさに地域が一体となって、スマート農業技術の開発及び普及拡大に取組んでいる先進地といえます。

このようなスマート農業に関する地域の状況をさらに広く知っていただき、地域全体の取組として更なる活性化を目指しているいわみざわ地域のこれからの姿を考えます。

日　時　：　平成31年3月8日（金）　13:30～16:10

場　所　：　自治体ネットワークセンター4F　マルチメディアホール

（岩見沢市有明町南1番地20）※岩見沢駅隣接、中央バス岩見沢ターミナル併設

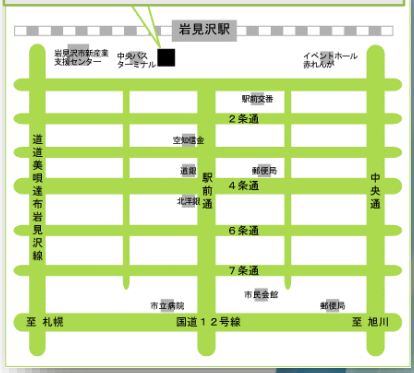
定　員　：　100名　*★参加のお申込みは裏面参照*

参加費　：　**無料**（お気軽にご参加ください！）

対象者　：　農業者、IT・農業機械関係企業、農業関係団体、学生、その他、いわみざわの新しい農業に関心のある方等

※岩見沢市民の方以外も参加できます。

自治体ネットワークセンター案内図



カリキュラム

※内容は予定であり、変更となる場合があります。

時間	項目	内容	講師（敬称略）
13時30分	開会	開会挨拶	
13時40分 ～ 14時00分	《報告①》 次世代農業を担う若者からの報告（仮題）	岩見沢農業高校におけるスマート農業実証試験からの報告 ◆センシング技術の活用に向けた実証実験について ◆スマート農業の可能性と期待 ◆ドローンを活用した測量について	岩見沢農業高等学校学生
14時00分 ～ 14時30分	《講演①》 これからのいわみざわ農業を支える直播技術の取組（仮題）	JAいわみざわが進める水稲の直播技術に関する現状について。 ◆直播技術導入の背景 ◆直播技術の概要と効果 ◆今後の課題と展開	JAいわみざわ水稲直まき研究会 会長　濱本　壮男
14時30分 ～ 15時00分	《講演②》 スマート農業の持つポテンシャルと可能性（仮題）	スマート農業に北海道農業の活路を見出し挑戦を続ける農業者の活動について ◆スマート農業による新しい農業への挑戦の状況と成果 ◆水稲直播技術を具現化するスマート農業技術 ◆更なる技術導入による可能性	いわみざわ地域ICT（GNSS等）農業利活用研究会 会長　西谷内　智治
		《休憩10分》	
15時10分 ～ 15時30分	《講演③》 スマート農業実装に向けたICT基盤と地方創生（仮題）	岩見沢市によるスマート農業基盤整備と目指す未来について ◆スマート農業の普及拡大に向けた基盤整備の状況 ◆連携による普及拡大で「先進地岩見沢」に！ ◆スマート農業から『農・食・健康』による地方創生に向けて	岩見沢市企画財政部 情報政策推進担当次長 黄瀬　信之
15時30分 ～ 15時50分	《講演④》 最先端技術の動向と今後の展開（仮題）	先進地岩見沢における先進スマート農業技術について ◆先進技術の現状と活用事例 ◆農業者と開発技術者との連携の必要性 ◆今後の技術開発と普及拡大に向けて	㈱スマートリンク北海道 常務取締役　小林　伸行
15時50分 ～ 16時10分	《講演⑤》 いわみざわ農業の将来ビジョン（仮題）	これからのいわみざわ農業について ◆いわみざわ農業の課題とJAの取組 ◆スマート農業の普及支援 ◆JAの考えるこれからのいわみざわ農業	JAいわみざわ農業振興部門 部門長　中道　克己
16時10分	閉会	閉会	

主催/中小企業基盤整備機構北海道本部

後援/岩見沢市、JAいわみざわ、いわみざわ地域ICT（GNSS等）農業利活用研究会

協力/北海道経済産業局、北海道岩見沢農業高等学校

プレゼンター

（敬称略・プレゼン順）

■北海道岩見沢農業高等学校

平成25年度より文部科学省より「スーパーサイエンスハイスクール（SSH）」の指定を受け、北海道の職業専門高校では初めての取組みに挑戦しており、スマート農業の実証実験やICT技術を活用した授業に取組んでいる。

■濱本　壮男（はまもと　たけお）

JAいわみざわ水稲直まき研究会　会長。同研究会は、畑状態のまま栽培できる乾田直播や代かき後播種する湛水直播の導入により、空知型輪作体系の確立・普及を目指し活動している。

■西谷内智治（にしやうち　としはる）

㈲西谷内農場　代表取締役。いわみざわ地域ICT（GNSS等）農業利活用研究会　会長を務める。農作業の効率化に向けて、現場体験を踏まえて積極的にIT利活用の推進を提唱し実践している。

■岩見沢市

岩見沢市は、農業就業人口の減少等の課題に対応するため、気象観測装置の整備による「農業気象サービス」の提供やGPS基地局設置によるトラクターのGPSガイダンス走行の支援等、ICT技術を活用した基盤整備を推進している。

■小林　伸行（こばやし　のぶゆき）

㈱スマートリンク北海道　常務取締役。北海道大学大学院農学研究院修了。農業生産、流通に係る技術開発に従事し、地理空間情報流通整備、宇宙政策、スマート農業に係る各種法制度や実証にも携わる。

■中道　克己（なかみち　かつみ）

JAいわみざわ農業振興部門　部門長。JAいわみざわでは、魅力ある農業と活力ある農村を築いていくため、地域の特性を生かしながら、低コストで安全・良質な食糧の生産に努めつつ、環境と調和した農業の展開をはかってる。

参加申込

下記の参加申込書に必要事項をご記入のうえ、FAX（011-210-7480）にてお申し込みください。（先着順受付）

＊平成31年3月5日まで受付けます（申し込み多数の場合早期に締め切る場合があります。）

参　加　申　込　書

中小機構北海道本部　企画調整課　行き

（FAX　011－210－7480）

平成31年　　月　　日

セミナー名	「岩見沢の先端農業を知る市民セミナー」（３月８日開催） ～スマート農業で変わる”いわみざわ”の今とこれから～
ご住所・連絡先	住所 電話（　　）　　－　　／ FAX（　　）　　－
所属 （農場名・企業名等）	
参加者名 （役職・担当等）	（　　）
参加者名 （役職・担当等）	（　　）

＊大人数のお申込みは、任意の書式にてご連絡いただいても結構です。

（注）個人情報保護法に定義されます個人情報に該当する情報については、当機構内で実施する事業で使用させて頂きます。
当該個人情報の第三者（業務委託先を除く）への提供または開示はいたしません。
ただし、お客様の同意がある場合及び法令に基づき要請された場合については、当該個人情報を提供できるものといたします。

【お申込み・お問合せ先】

Be a Great Small.
中小機構

中小企業基盤整備機構
北海道本部
企画調整課　担当：杉森

札幌市中央区北2条西1丁目1－7
ORE札幌ビル6階
TEL　011-210-7470　　FAX　011-210-7480

中小機構北海道本部は、「国の中小企業施策の実施機関」で、北海道農業の経営力強化や高付加価値化の支援にも取り組んでおります。また、昨年度より『スマート農商工連携の促進』を掲げ、スマート農業の普及、発展のための各種セミナーや支援事業、情報発信等に取り組んでいます。

★スマート農商工連携の詳細はHPから！

スマート農商工連携　検索